

### 市民ギャラリー・ステージ

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

《10月のギャラリー》会場 市民センター  
 ①多目的ホールA②同B③301(302)室④展示場⑤303和室  
 【12日～15日】  
 くすのきの家・なかよし福祉作品展 午後1時～①  
 趣味のグループ作品展 正午～②  
 第38回芦屋絵画グループ展 午前9時～③  
 【13日～15日】  
 自然の美石と山野草 午後1時～⑤  
 【17日～20日】  
 絵画グループおいしいクラブ作品展 午前9時～①②  
 【20日～25日】  
 秋の盆栽展 午後1時～③  
 【21日～25日】  
 あしやYO倶楽部 写真絵画作品展 午前9時～①②  
 【26日～29日】  
 芦遊会洋画グループ小品展 午前10時～④  
 【26日～31日】  
 芦屋仏像彫刻グループ第14回仏像彫刻作品展 午後1時～③  
 【27日～28日】  
 芦屋茶華道展 午前9時30分～①②  
 《10月のステージ》会場 ルナ・ホール  
 DANCING IN 2007 20日(土)午後6時開演  
 民謡発表会 21日(日)午前10時30分開演  
 芦屋ミュージカルの祭典 27日(土)午後6時開演  
 芦屋市吟詠剣詩舞連盟創立35周年記念発表会  
 28日(日)午前10時開演

### 谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/38-3244(〒659-0052 伊勢町12-25)  
 Eメール ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

心に沁みるコンサート  
 高橋キヨシ  
 ギター&ボーカル  
 ■日時 10月20日(土)  
 午後6時～8時  
 ■会場 谷崎潤一郎記念館  
 ■出演 高橋キヨシ  
 ■内容 サバの女王/誰もいない海/愛の賛歌ほか  
 ■定員 60人  
 ■参加費 3,000円(ドリンク付き)  
 ※事前にチケットをご購入ください。

《10月の休館日》  
 1日・9日・15日・22日・29日

### 富田砕花旧居からのお知らせ

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

### 男女共同参画センター

問い合わせ 男女共同参画センター ☎38-2023/FAX38-2175  
 Eメール josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp(〒659-0092 大原町2-6ラ・モール芦屋2階)

「知ることから始めよう！女性の健康」—私の“こころ”と“からだ”は私のもの—【全3回】  
 ■日時 ①10月29日②11月5日③11月12日(月)午前10時～正午 ■会場 ウィザスあしや(男女共同参画センター) ■内容 ①「知っておきたい女性の健康」②「やってみよう 心もからだもリラックス」③「自分のからだところどころの主人公になる」 ■講師 ①③神戸市看護大学教授・高田昌代氏 ②リラクゼーション・ボディワーカー・栗岡多恵子氏 ■定員 女性20人 ■受講料 900円

シリーズ「わたしと仕事 —安心・安全にかかわる—【全2回】  
 ■日時 ①11月10日②11月17日(土)午前10時～11時30分 ■会場 ウィザスあしや(男女共同参画センター) ■内容 ①「住民を守る仕事」②「錠前師にあこがれて」 ■講師 ①芦屋警察副署長・坊野佳代子氏②防犯アドバイザー・京師美佳氏 ■受講料 600円 ■定員 30人

■一時保育 2歳以上就学前の幼児、先着8人(1回・1人300円) ■申し込み 窓口・電話・はがき・ファクス・Eメールで①講座名②住所・氏名・電話(ファクス)番号を記入し、一時保育希望者は子どもの名前と生年月日を明記し、各講座開始5日前までに上記へ。

女性相談【相談予約電話 ☎38-2022】※専門の相談員が相談に応じます

【女性の悩み相談】<要予約>  
 ■日時 10月5日・12日・19日・26日(金)午後1時～4時 ■内容 夫婦・家族関係、心の悩みなど ■会場 ウィザスあしや(男女共同参画センター)

【暴力(DV)に関する相談】<要予約>  
 ■日時 10月3日・11月7日(水)午後1時～4時 ■内容 夫や親しい関係にある男性からの暴力(DV) ■会場 ウィザスあしや(男女共同参画センター)

ご存じですか？  
 検察審査会 ■犯罪被害にあったのに不起訴となり、不服というかたは検察審査会にご相談ください。■検察審査員は選挙人名簿からくじで選ばれます。選ばれたかたには通知します。司法関係者等は審査員になれないため、「予定者」「候補者」の職業などの調査をします。■あなたに調査の依頼があった場合には、ご協力ください。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎38-2100/神戸検察審査会事務局 ☎078-341-7521

### 10月テレビ広報番組ガイド

芦屋市広報番組 あしや30	放送時間(30分)
芦屋市の動き	① 8:00
芦屋市政クララ	② 11:30
トピックス	③ 16:00
	④ 19:30
	⑤ 22:30
ドラマサーティ	※ビデオテープ貸出可
市民の時間	

※「J・COM特別番組」のため、10月20日(土)④の放送はありません。  
 ■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(J・COM)カスタマーズセンター ☎0120-13-8160

### ルナ・ホール催し案内

■チケット販売所 市民センター事務所、大書、市役所内売店、市民センター内グリル兼平、ローソン・チケット(Lコード/ジャズ59635・能52309)「芦屋能」のみ大丸商品券売場でも販売

阪神芸術祭参加事業  
**第14回 芦屋能・狂言鑑賞の会**  
 和泉流人間国宝・野村 萬節(ほか)一流演者を迎えての珠玉の舞台。秋の一夜、幽玄の世界でお楽しみください。  
 ■日時 11月29日(木)午後6時～8時30分 ■会場 ルナ・ホール  
 ■入場料 3,500円(前売3,000円・10月1日チケット販売開始)全席自由 ■出演 観世鏡之丞、長山禮三郎、福玉茂十郎、野村 萬、野村万蔵、大倉源次郎ほか ■内容 舞囃子「善知鳥」、狂言「蚊相撲」、能「船弁慶」重き前後之替

問い合わせ 市民センター ☎31-4995

財政収支見込の改善状況 (単位：億円)

	15年度	16年度	17年度	18年度	4年間合計
当初の収支見込(平成15年作成)	315	279	282	266	1,142
歳入歳出収支(▲は赤字)	315	311	308	319	1,253
	0	▲32	▲26	▲53	▲111

改善

	15年度	16年度	17年度	18年度	4年間合計
現在の収支見込(平成19年8月)	318	314	344	318	1,294
歳入歳出収支(▲は赤字)	308	306	329	312	1,255
	10	8	15	6	39

4年間の改善額 10 40 41 59 150

市役所などの職員、病院や水道の企業会計職員等は含みません。  
 □歳入の確保 七億三千九百万円  
 起債充当率の引上げや起債対象事業の拡大で収入を増やしました。  
 □扶助費の凍結や廃止、見直し 六億二千八百万円  
 市福祉金の凍結で三億七千六百万円、奨学金の減額などで三千七百万円、医療助成制度の所得制限見直しなどで一億四千三百万円、入院生活給付金の廃止で二千七百万円など、支出を減らしました。  
 □予算の節約 五億五千八百万円  
 電気や水道使用料の節約に努めました。また、これまで委託していた業務を工夫して職員が行ったり、複業の業者から見積もりを取るなど、予算の節約に努めました。  
 ②財政的な効果は少ないが計画を上回る効果のあった項目  
 □廃棄物処理手数料の値上げ  
 □大型コンピュータを  
 小型コンピュータに切り替え  
 □新たなシステムの導入  
 文書管理・財務会計・電子決裁のシステムを導入し、印鑑を使わず素早く決裁する仕組みに変えました。  
 ③計画どおりには効果の上がらなかった項目  
 □その他特別会計への繰り出しの見直し  
 国民健康保険事業特別会計への繰り出しが、医療費の増加などで計画どおりには減りませんでした。  
 □病院経営の見直し  
 院内開業や院外処方などの経費節減に努めました。また、臨床研修医制度による医師の確保が難しく、それに伴う患者減、診療報酬のマイナス改定により

収入減など、経営が厳しい状況となりました。  
 ④できなかった項目  
 □駐車料・駐輪料の徴収  
 市役所内での検討に時間を要していますが、できるだけ早い時期に実施します。  
 □和風園の民間委託  
 介護保険制度等の改正を見極めた上で実施。平成二十年度から指定管理者制度を導入する予定です。  
 □幼稚園の廃園  
 園児が増加したため計画は見送り、今後の園児数の動向を精査し、認定子ども園制度も含めて検討します。  
 □市立保育所の民営化  
 幼稚園の廃園計画を見送ったことや待機児童数の増加により、児童数の動向を踏まえて引き続き検討します。  
 □人事評価システムの導入  
 平成十六年度から課長級以上を対象に、目標面談制度を試行しています。また、本格実施には至っていません。平成二十二年まで、に人事評価制度を導入する予定です。  
 □市民生活指標の検討  
 ホームページに毎月人口、国勢調査

のデータや統計書を公表しています。市役所の行政情報コーナーにも置いてあり幅広く利用されています。職員は庁内LANを利用して情報を共有しています。  
 □PFI民間資金を活用して公共施設の新設や運営をする仕組みの検討  
 該当する施設がありませんでした。  
 これまで4年間にわたり財政再建を最優先とした取り組みをしてきました。収支面ででは危機的な状況を脱し、何とか再建のめどが立ってきました。しかしながら、三位一体の改革(国の制度改革)の影響や、公債費(借金返済)がなお大きいため、財政運営は基金市の貯金を取り崩して収支を合わせなければならぬ状況が続くと予測しています。また、将来、学校などの公共施設の耐震化などに支出が必要になってくることから、今年の十月末をめどに「新しい時代への対応・財政の健全化」という二つの課題に対応した新たな行政改革の実施計画を策定する予定です。

## 平成15年度から18年度までの4年間

### 行政改革68項目の取り組み

問い合わせ 行政経営課 ☎2005

市では、平成十五年十月に四年間で財政再建の目的を立てることを目標に、六十八項目の「行政改革実施計画」を策定し、市民、議会、職員等の協力のもとに行政改革に取り組んできました。その結果、平成十五年年度から十八年度までの四年間では、各年度いずれも計画額を上回る実績をあげることができました。計画時と現在の財政収支の違いや、行政改革四年間の取り組みについて、そのあらましをお知らせします。

●基本計画●  
 徹底した内部努力  
 施策、行政水準の見直し  
 民間活力の導入推進  
 積極的な財源の確保

●財政収支●  
 人件費、扶助費、公債費の義務的な経費の比率は改善しつつあります。平成十五年当時の硬化化した財政構造と比べ、平成十五年に作成した当初の収支見込とを比較すると、百十二億円の赤字となる見込みが三十九億円の黒字

となり、差し引きで百五十億円の改善となりました。

●行政改革実施計画の主な内容●  
 ①計画を上回る効果のあった項目  
 以下、上位六項目で八十一億六千万円の財政効果がありました。  
 □市有地の売却 二十五億四千七百万円  
 当初計画では十年間で二十五億円の売却予定でしたが、処分可能な土地はできるだけ売却することにより十八年度末で六十四件三十五億四千七百万円の収入になりました。  
 □職員の給与カット十七億一千七百万円  
 職員の給与を平成十六年一月から2.5%カットしました。五十五歳昇給停止など、他市と比べても大幅な人件費の削減を行いました。特別退職の募集を行い、新規採用を抑制しました。平成十五年四月の普通会計職員数八百四人から約百人減り、現在は七百三人となりました。  
 ※普通会計職員  
 市役所などの職員、病院や水道の企業会計職員等は含みません。  
 □歳入の確保 七億三千九百万円  
 起債充当率の引上げや起債対象事業の拡大で収入を増やしました。  
 □扶助費の凍結や廃止、見直し 六億二千八百万円  
 市福祉金の凍結で三億七千六百万円、奨学金の減額などで三千七百万円、医療助成制度の所得制限見直しなどで一億四千三百万円、入院生活給付金の廃止で二千七百万円など、支出を減らしました。  
 □予算の節約 五億五千八百万円  
 電気や水道使用料の節約に努めました。また、これまで委託していた業務を工夫して職員が行ったり、複業の業者から見積もりを取るなど、予算の節約に努めました。  
 ②財政的な効果は少ないが計画を上回る効果のあった項目  
 □廃棄物処理手数料の値上げ  
 □大型コンピュータを  
 小型コンピュータに切り替え  
 □新たなシステムの導入  
 文書管理・財務会計・電子決裁のシステムを導入し、印鑑を使わず素早く決裁する仕組みに変えました。  
 ③計画どおりには効果の上がらなかった項目  
 □その他特別会計への繰り出しの見直し  
 国民健康保険事業特別会計への繰り出しが、医療費の増加などで計画どおりには減りませんでした。  
 □病院経営の見直し  
 院内開業や院外処方などの経費節減に努めました。また、臨床研修医制度による医師の確保が難しく、それに伴う患者減、診療報酬のマイナス改定により

### よりご理解いただくために

行政改革の情報は市ホームページ、市役所北館1階の行政情報コーナー、図書館、公民館図書室、ラポルテ市民サービスコーナーでもご覧いただけます。また、出前講座などの要請があれば、説明に伺います。

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

●行政改革の4年間の取り組み(財政効果)●  
 四年間の財政効果(支出減と収入増)は総額百五億九百万円となりました。  
 ①徹底した内部努力 三十三億九千七百万円  
 職員数を削減するとともに給与をカットして人件費を削減しています。  
 事務事業を見直し委託料などの経費を、またコンピュータ運用の見直しで経費を削減しました。  
 ②施策・行政水準の見直し 二十億三千四百万円  
 国や県の水準を上回る扶助制度について、廃止や減額など見直しを行いました。  
 ③民間活力の積極的な導入 四億六千九百万円  
 地区集会所、体育施設、谷崎潤一郎記念館などは、指定管理者制度を活用し、民間企業や団体に管理運営を任せています。  
 ④積極的な財源の確保 四十六億九百万円  
 起債充当率の引上げをしました。  
 (事業をするときの借金を通常よりも多く借りて事業費に使いました)  
 市の持っている土地を住宅用地などとして売却しました。  
 また、各種の減免制度や使用料・手数料を見直し、収入を増やすことに努めました。

年度ごとの行政改革実施計画と実績額

	15年度	16年度	17年度	18年度	合計
計画額	8億2,693万円	10億4,582万円	29億9,834万円	28億2,550万円	76億9,659万円
実績額	12億3,675万円	14億7,090万円	42億8,396万円	34億1,723万円	105億 884万円
差引額	4億 982万円	4億2,508万円	13億8,562万円	5億9,173万円	28億1,225万円

### 白バラ だより

小学生の娘の選挙に対する考えには興味深いものがあります。私には娘が小さいときからベビーカーに乗せて一緒に投票所に行っていました。娘は、いつも興味津々の表情で投票所で繰り広げられる光景を見つめています。

「次の時間の女の人の所に、お母さんの数も入るんだよ。」  
 「うん、そうだよ。お母さんが投票しなかったら、その数値は一人分減っちゃうんだよ。」  
 このような会話を交わしながら帰りました。その夜、開票結果を見るために、テレビをつけました。アナウンサーがそれぞれの街の投票率を読み上げると、娘が声をあげました。「えっ？投票率って全部100%じゃないの？」  
 その考えのまま、娘には二十歳になってほしいものだと思いました。

問い合わせ 選挙管理委員会 ☎2100



能「船弁慶」/平 知盛

### オータムフェスタ2007

■日時 10月21日(日)午前10時～午後4時<小雨決行>  
 ■会場 総合公園  
 ■内容 飲食、フリーマーケット、少年サッカー、音楽、花苗交換会 ほか

《フリーマーケット出店者募集》  
 ■出店料 1ブース・1,000円(3m×3m、当日徴収)  
 ■申し込み はがきまたはファクスに、住所・氏名・希望ブース数を記入の上、10月9日(火)までに、薬市楽座事務局(FAX25-2026 〒659-0034 陽光町1-1 総合公園内)へ

問い合わせ 総合公園 ☎25-2023